

「バリアフリー食“凍結含浸”」ワークショップ活動報告 ⑪

H25.11.25 ワークショップ事務局

1 介護の日フェスタ in 広島（広島会場）

日時：平成 25 年 11 月 10 日（日） 場所：広島県庁正面駐車場（屋外）

- このイベントは、11 月 11 日が「介護の日」であることを県民に周知し、県民や学生の介護・福祉に関する理解を促し、職業としての魅力を伝えることを主旨とするものです。地元の介護に関心の高い方々に対して、広島発の「凍結含浸」の認知度を高める上で効果的な PR 機会のひとつと考えています。
- 去年は、福山会場（県東部）に出展しましたが、今年はイベント事務局の要請もあり、より来場者数の見込める広島会場に出展しました。会場は屋外で、当日はあいにくの雨模様でしたが、イベント会場来場者数は、約 2,300 名とのことでした。

2 展示 PR の様子



上：イベント会場入口



右：当ブース全景

- 当ワークショップとして、日本水産株式会社、有限会社クリスターコーポレーション、広島県立総合技術研究所食品工業技術センターの3者で共同出展しました。展示ブースでは、株式会社北洋本多フーズの商品サンプル展示など合わせてワークショップ活動をポスター紹介するとともに、実際に商品（日本水産「笑み満菜」）の試食をしていただきました。



試食品（日本水産「笑み満菜」）



当ブースにも多くの来場者



ブース内では実際の商品を表示

- 当ブースには、約 200 名の方が立ち寄りましたが、納得、驚きをもって、説明にも耳を傾けてくださいました。イベント会場には就活コーナーもあり、専門学校生など、介護・福祉分野への就職希望者も多く来場されており、これからを担っていく人材にも当ブースを訪れていただくことができました。



隣接のあと会ブースの展示



来場者も納得のおいしさ



あと会の試食メニュー（凍結含浸食）

- また、隣接ブースでは、社会福祉法人あと会（くにくさ苑）による、介護施設現場での凍結含浸食調理提供の取組が紹介されました。実際に施設で提供されている凍結含浸メニューの試食は来場者にも好評でした。

3 ブース来場者認知度アンケート結果（概要）

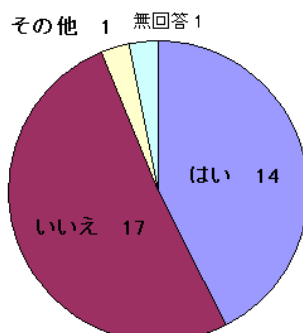
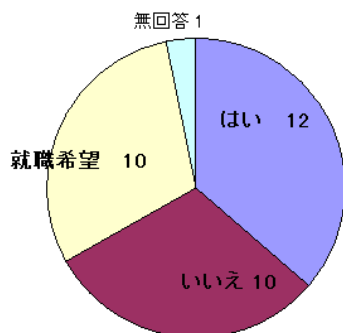
① 回答者 33 名

【内訳】年齢層別 ～29才 5名, 30～49才 21名, 50～59才 3名, 60～69才 1名, 70才～ 1名
所在地別 県内 30名, 県外 3名

② 回答者の介護との関わり背景

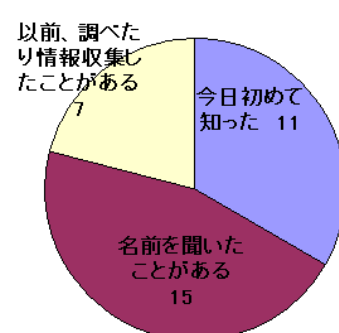
Q 介護関係の仕事をしていますか？
(されたことがありますか？)

Q ご家族等の介護等をされていますか？
(されたことがありますか？)



③ 凍結含浸についての認知状況

Q 凍結含浸(技術や調理、食品・食事など)について
ご存知でしたか？



4 総括

- 今回の出展 PR において、ブース来場者との会話やアンケート結果から、介護に関心や理解があると思われる県民の凍結含浸の認知度としては、3人に2人が「名前を聞いたことがある」程度にはなっているように感じられました。昨年は2人に1人（H24.11.20 活動報告Ⅱを参照）でしたので、着実に認知度が高まっていると考えられます。
- また、「以前から興味を持っていた是非体験したかったの！」と言われる方、「もっと広報して欲しい」との声が多く聞かれました。特に、家庭でご家族の介護をされている方々からは、入手や利用に当たっての具体的な質問も増え、凍結含浸食に対して切実なご期待をいただいていることが実感されました。
- 今回の出展では、最終的に食される方・提供される方、在宅や施設の状況、調理へのこだわりなど、さまざまな利用シーンに応じて、既製品の利用、調理専用調味料の利用、あるいは施設内での給食利用という視点での情報発信を行いました。来場された方々には、これら選択肢の組合せも含めて、凍結含浸食の実際の利用・導入を考えていただける機会となったものと考えています。